

旧法師岡分館解体工事（建築工事の部）

I 工事概要

1. 工事場所

青森県三戸郡南部町大字法師岡地内

2. 敷地面積

－

3. 工事種目

1) 体育館

鉄骨造平屋一部木造

取りこわし 1 棟

4. 工事内容

とりこわし工事

5. 工事範囲

※すべての躯体（捨てコンクリートまでとし、砂利地業は除く）及び  
仕上げ材すべてとする。

II 解体工事仕様

（1）

図面及び本特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「建築物解体工事共通仕様書（建築工事編）（令和4年版）」（以下「解体共通仕様書」という。）による。  
図面、本特記仕様書及び解体共通仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部制定の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）以下「標準仕様書」という。）及び「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下「改修標準仕様書」という。）による。

（2）

本特記仕様書の表記

1）項目は、○印の付いたものを適用する。

2）特記事項は、○印の付いたものを適用する。  
○印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。  
○印と※印の付いた場合は、共に適用する。

3）特記事項に記載の《 》内表示番号は、解体共通仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

3）特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

4）特記事項に記載の[ ] 内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。

1章  
一般共通事項

○適用基準等

1）図面、本特記仕様書、解体共通仕様書、標準仕様書及び改修標準仕様書に記載のない事項は次の基準による。  
○監理者（発注者）との協議による  
・  
2）本特記仕様書における「標準詳細図」とは次の基準を示す。  
建築工事標準詳細図（令和4年版）  
国土交通省大臣官房官庁営繕部整備課

2章  
仮設工事

○騒音・粉塵等の対策

《2. 2. 1》  
騒音・粉塵等の対策  
・ ※防音パネル  
設置範囲及び高さ  
・ 図示（ / 図による）

・足場その他

《2. 2. 2》  
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場の設置に当たっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据置方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。

・山留めの撤去

《2. 4. 3》  
鋼矢板等の抜き後の処理  
※直ちに砂等で充填する

3章  
解体施工

○杭の解体

《3. 9. 2》  
杭の解体  
○行う ・ 行わない  
杭の解体工法  
○引抜き工法 ・ 粉碎による解体

・樹木等

《3. 11. 1》  
樹木の伐採抜根及び移植  
・ 行う（ / 図による）

○地下埋設物埋設配管

《3. 12. 1》  
地下埋設物及び埋設配管の解体  
○行う（ / 図による）

○解体後の整地

《3. 13. 1》  
解体後の埋戻し及び盛土  
・ 行う  
整地高さ  
○現状G L ・ 図示（ / 図による）  
埋戻し及び盛土の材料  
・ 山砂の類  
○他現場の建設発生土の中の良質土  
・ 再生コンクリート砂  
埋戻し及び盛土に当たっては、各層30cm程度毎に締め固めること。  
・ 荒整地のみ行う  
・ 行わない

5章  
特別管理産業廃棄物等の処理等

・施工調査

《5. 1. 2》

材 料 名	厚さ(mm)	調査を行う範囲
		※図示 ・ 工事対象範囲
		※図示 ・ 工事対象範囲
		※図示 ・ 工事対象範囲
		※図示 ・ 工事対象範囲

○石綿含有建材の除去工事

《6. 1. 3》  
施工調査  
※石綿含有建材の事前調査  
工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等によって石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。  
調査範囲（○報告書参照 ・ 図示 ）  
貸与資料（ ）  
○分析による石綿含有建材の調査  
分析対象  
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト  
分析方法  

材 料 名	定性分析方法		定量分析方法	
	JIS A 1481-1またはJIS A 1481-2		JIS A 1481-3またはJIS A 1481-4	
・セチリーマツ下張共	・ 1 箇所		・ 箇所	
・石綿ルート	・ 1 箇所		・ 箇所	
・石膏ボード	・ 1 箇所		・ 箇所	
・窯業系サイディング	・ 1 箇所		・ 箇所	
・セージンボード	・ 1 箇所		・ 箇所	

  
サンプル数 1 箇所あたり 3 サンプル  
採取箇所 ○報告書参照  
・石綿粉じん濃度測定 《6. 1. 4》  
測定時期、場所及び測定点  

適用	測定名称	測定時期	測定場所	測定箇所数 (各施工箇所ごと)
・	測定1	処理作業前	処理作業室内	・ 計 点
	測定2		調査対象室外部の付近	・ 計 点
・	測定3	処理作業中	処理作業室内	・ 計 点
	測定4		セキュリティゾーン入口	・ 計 点
	測定5		集じん・排気装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹出し風速1m/sec以下の位置 ・ 計 点
	測定6		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	・ 計 点
・	測定7	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	・ 計 点
・	測定8	処理作業後シート撤去後1週間以降	処理作業室内	・ 計 点
・	測定9	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	・ 計 点

  
測定方法  
・自動測定器による測定  

測定名称		測定方法	
・測定 4	・測定 5	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計） パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定	

  
・JIS K 3850-1に基づいた測定  

測定名称	メンブレンフィルタ直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定 4	25	5	30
・測定 5			
・測定	25	10	120
・	47	10	240
・測定			
・			

石綿含有建材の処理

《6. 3. 2、3》  
・石綿含有吹付け材の除去  
除去対象範囲 ・ 図示  
除去工法 ・ ※6. 3. 2(1) (7)による  
除去した石綿含有吹付け材等の飛散防止措置  
※湿潤化 ・ 固化  
除去した石綿含有吹付け材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
・石綿含有保温材等の除去 《6. 4. 1》  
除去対象範囲 ・ 図示  
除去工法 ・ 破碎して除去 ・ 手ばらし  
除去した石綿含有保温材等の飛散防止  
※湿潤化 ・ 固化  
除去した石綿含有保温材等の処分  
・埋立処分（管理型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）  
・石綿含有成形板の除去 《6. 5. 4》  
除去対象範囲 ・ 図示  
除去した石綿含有成形板の処分  
・石綿含有せつこうボード  
※埋立処分（管理型最終処分場）  
・石綿含有せつこうボードを除く石綿含有成形板  
・埋立処分（安定型最終処分場）  
・中間処理（溶融施設又は無害化処理施設）

アスベスト含有の設備資機材の処理については、取りこわし特記仕様書（電気設備の部）及び（機械設備の部）による。

一般建築士事務所 青森県 登録 A1 第 1140 号  
有限会社 夏 堀 ア シ ス ト 設 計  
八戸市桜城9丁目4番8号 TEL 71-4671(代) FAX 71-4672  
一般建築士 登録第104903号 夏 堀 典 雄

旧法師岡分館解体工事

特記仕様書（1）

A—01

編尺

－

年/月

2025/6